

コロラド州：小麦作柄と気象状況

2003年6月24日

2003年6月22日現在：

6月22日に終わる1週間の州平均農作業日数は5.4日（前週：5.7日）であった。州東部平原にて散発的な雷雨が発生、所により豪雨をもたらした。一方、San Luis Valley（同州中央南部）の西側斜面はき期続き乾燥状態であった。Topsoilの土壌水分は前週より多少改善したが、Subsoilの水分は僅かに減少した。

6月22日現在60%の冬小麦が登熟期に入った（Turning color）。登熟は昨年（66%）及び5年平均（66%）より多少遅れている。冬小麦の18%が完熟期に入り、略“Fair～Good”と評価された。生殖成長は昨年並びに平年より遅いペースである。収穫された圃場は未だ無い（平年：1%）。

土壌水分：2003年6月22日現在

	Very Short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	4	15	75	6
Subsoil (%)	13	33	53	1

冬小麦生育状況：2003年6月22日現在

	2003	2002	5-yr Average
Turning Color (%)	60	66	66
Ripe (%)	18	50	54

小麦作柄状況：2003年6月22日現在

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter wheat (%)	5	11	23	45	16

Source：コロラド州農業統計局（Colorado Agricultural Statistics Service）

コロラド州冬小麦作付面積の推移：2003年3月31日付けUSDA発表

	2001 Crop 1000 acres	2002 Crop 1000 acres	2003 Crop 1000 acres	2003/2002 Percent
作付面積	2,350	2,350	2,600	111

2003年6月1日付け農務省冬小麦の生産量予想：

Colorado	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
				May 1	June 1		
	1,650	2,200	22.0	30.0	33.0	36,300	72,600

当該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃：Email ogawa.max@omicnet.com